

平成25年10月定例記者会見要旨(平成25年10月3日開催)

1. 消費税率の引き上げが市財政や市経済、市民生活に与える影響について

地方では、アベノミクスによる効果は実感できていないのが現状である。税と社会保障の一体改革がどうなったのか、また、今後どのような福祉国家を築いていくのか見えてこない。

また、増加する社会保障負担を単純に消費税で賄うやり方、そして全て社会保障に使われるのか不安を感じる。

今後、経済再生と財政健全化を国民に見える形でどのように進めるのかははっきりしないため、われわれとしても手の打ちようがない。経済再生計画の第3の矢がどれだけ地方に打ってでるのか期待している。

本市では増収を増やす方向で企業誘致を行っているが、法人税の実効税率の引き下げや固定資産税(償却資産)の減税などが実施されると、企業誘致にはいいが即増収につながるのか不安を感じる。

しかしながら、国の動向を静観するだけではいけないので、市独自で景況感をあおっていく施策が必要である。

市長発表

1. 瀬戸内国際芸術祭2013沙弥島・あの感動を再び

秋会期の最終10日間(10月26日(土)~11月4日(月))に、旧沙弥小中学校において春会期の記録写真や映像展というかたちで開催する。

また、好評だった「えのきカフェ」が再オープンし、11月2日(土)には、「えのきコンサート in ナカダ浜」も予定されている。

現在、今後の取り組みについて、神戸芸術工科大学と坂出市が連携を密にしながら坂出市の将来に繋げていこうとの話しが進んでいる。